

○株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日 3月31日
定時株主総会 毎年6月
株主名簿管理人特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所 東京証券取引所(スタンダード市場)
公告の方法 電子公告により行う

[公告掲載 URL]
<https://www.hayashikane.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 1.株主様の住所変更、買取請求・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

 Hayashikane

〒750-8608 山口県下関市大和町二丁目4番8号
TEL(083)266-0210 FAX(083)266-1266

ホームページのご案内



林兼産業株式会社 Topページ
<https://www.hayashikane.co.jp/>



詳細はこちらの
QRコードから
お願いします



林兼産業株式会社 IR情報ページ
<https://www.hayashikane.co.jp/ir/>



この報告書は、FSC®認証紙と、環境に優しい植物油インキを使用して印刷しています。

With you

第85期

株主通信

2023年4月1日～2024年3月31日



Index

業績サマリー	01
社長から皆さまへ	02
セグメント概況	03
インフォメーション	04
トピックス	06
財務諸表(要約)	07
会社概要	09

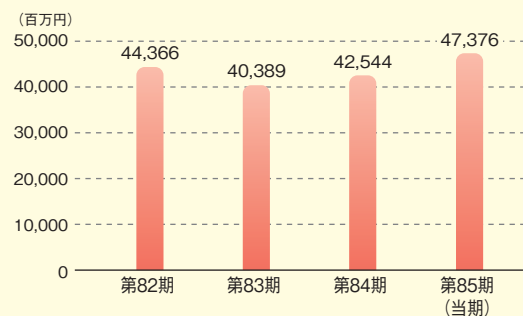
 Hayashikane

証券コード 2286

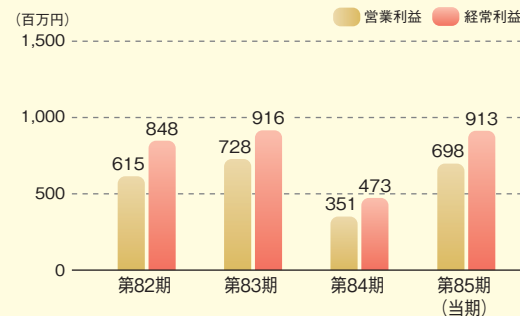
財務ハイライト

	第84期	第85期	前期比増減
連結売上高	42,544百万円	47,376百万円	11.4%
連結営業利益	351百万円	698百万円	98.5%
連結経常利益	473百万円	913百万円	93.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	333百万円	749百万円	124.8%

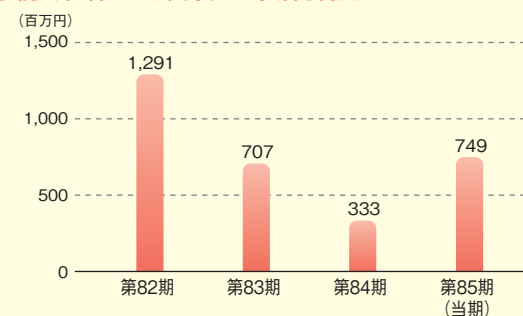
○連結売上高



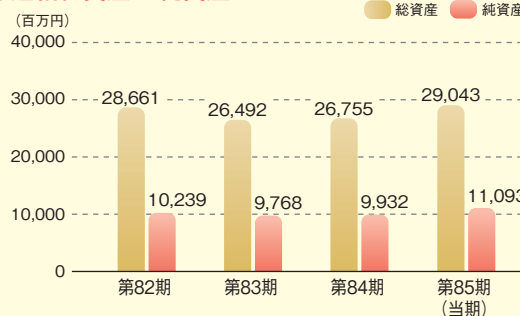
○連結営業利益 / 経常利益



○親会社株主に帰属する当期純利益



○連結総資産 / 純資産



株主の皆さまに第85期株主通信をお手もとにお届け申しあげるにあたりまして、日ごろのご愛顧とご支援に厚く御礼申し上げます。

当期の経営成績

当連結会計年度の売上高は、原材料価格やエネルギーコストの高騰に対応するために行った食品・飼料の価格改定などにより473億76百万円(前期比11.4%増加)となりました。損益面におきましては、価格改定による利益率の改善などにより、営業利益は6億98百万円(前期比98.5%増加)、経常利益は9億13百万円(前期比93.1%増加)、親会社株主に帰属する当期純利益は7億49百万円(前期比124.8%増加)となりました。

経営計画

当社グループは、当連結会計年度までの「中期経営計画〈挑戦〉PhaseII《challenge2024》」(2023年3月期～2024年3月期)において計画2年目では指標としたネットD/Eレシオ0.80以下を達成し、売上高・経常利益ともに当初計画値を上回る結果となりました。

今後も国際情勢を背景とした原材料価格高騰やエネルギーコスト高騰に加え、円安水準も継続していることより、当社グループを取り巻く経営環境は厳しいものとなると予想されます。

こうしたなか、本年4月から、Hayashikaneだからできる『生きる力』のジャンルトップを目指し『中期経営計画Challenge2026』(2025年3月期～2026年3月期)を策定いたしました。これまでの中期経営計画の成果を基に「新たな構造改革」と称して、資本コストを意識した経営実現、収益構造の見直し、生産体制および設備の最適化、安定配当の継続、将来に向けての投資等を実行してまいります。

今後とも一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2024年6月

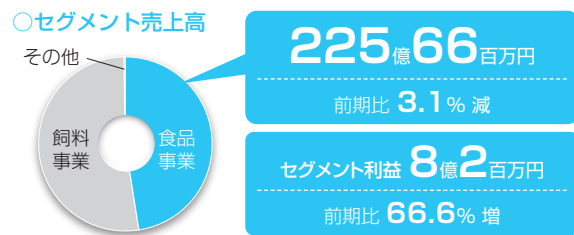
取締役社長
中部 哲二



※「中期経営計画Challenge2026」の詳細につきましては、当社ホームページ「中期経営計画」をご参照ください。
[<https://www.hayashikane.co.jp/ir/managementplan/>]

セグメント概況

〔食品事業〕



機能性素材は、エラスチンの海外向け販売数量が減少したことなどにより、減収となりました。

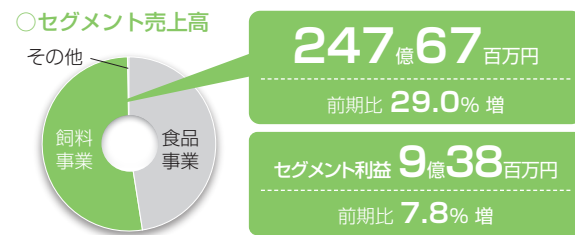
加工食品は、収益性を重視した取引に努め、販売数量が減少したことにより、減収となりました。

肉類は、主要取引先への販売数量が減少したことなどにより、減収となりました。

これらにより、売上高は225億66百万円(前期比3.1%減少)となりました。損益面におきましては、価格改定や収益性を重視した製造および販売に努めたことなどにより、セグメント利益(営業利益)は8億2百万円(前期比66.6%増加)となりました。



〔飼料事業〕



配合飼料は、原材料価格高騰に対応した価格改定や養魚用飼料の販売数量増加により、増収となりました。

水産物は、取り扱い量が増えたことにより、増収となりました。

これらにより、売上高は247億67百万円(前期比29.0%増加)となりました。損益面におきましては、養魚用飼料の販売数量増加および生産効率の改善により、セグメント利益(営業利益)は9億38百万円(前期比7.8%増加)となりました。



マグロ用配合飼料「ツナフード」

インフォメーション

「コーポレートスローガン／パーパス」

コーポレートスローガン

おいしさを、生きるちからに。

パーパス

「食」は、かけがえのない「生きる力」です。

私たちがその想いを強く抱くのは、戦後の食糧難の時代、常温で長期保存できる魚肉ソーセージを開発し、困窮する人々の「食」を提供し、「生きる力」を支えてきた経験があるからです。

以来、食全般から「生きる力」を支えるメーカーとして歩み続け、今では飼料製造から食品製造までの事業を手がけています。

時代は流れ、求められる「生きる力」の意味は変化し、大きく広がっています。

「生きる力」とは、豊かな食文化をおいしく味わうよろこび。私たちは、栄養価の高い飼料を開発し、大自然で育てた水産・畜産物を世界の食卓に届けることで、日本の誇る食文化を提供しています。

「生きる力」とは、健康に美しく過ごす日常。私たちは、自然の恵みを活かし、新たな機能食品を生み出すことで、心にも栄養と潤いを与え、健やかな将来に欠かせない食を作り出しています。

2050年には、世界的人口増による資源の枯渇により、食糧危機が危惧されています。また国内に目を向けると直ぐそこに人生100年時代が訪れようとしています。健康で幸せに生きること、そんな当たり前の日常を維持することが難しくなろうとしているのです。

どんな時代が来ようとも、食の幅広いサプライチェーンを持つ林兼産業は、「食」の研究・開発・供給によって「生きる力」の源である食の可能性を広げ、人々に健康と幸せを提供し続けることができます。

『日本から世界へと「食」を通じてすべての人が幸せに生きられる社会をつくる。』

それが、林兼産業の使命であり、私たち自身の幸せでありたいと願っています。

「生きる力」を生み出す食糧品メーカーである林兼産業は、食の可能性をひろげる商品を生み出すことで、誰もが幸せに生きられる未来をつくるために活動します。

中期経営計画『Challenge2026』（2025年3月期～2026年3月期）を新たに策定いたしました。

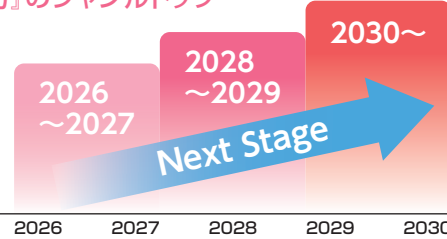
基本方針 構造改革

Challenge 2026 Hayashikaneだからできる『生きる力』のジャンルトップ

構造改革 Challengeし続け、事業基盤を盤石にする

これまでの成果を基に新たな「構造改革」を実行

- 資本コストを意識した経営
- 収益構造の見直し
- 生産体制、設備の最適化
- 将来へ向けての投資 等



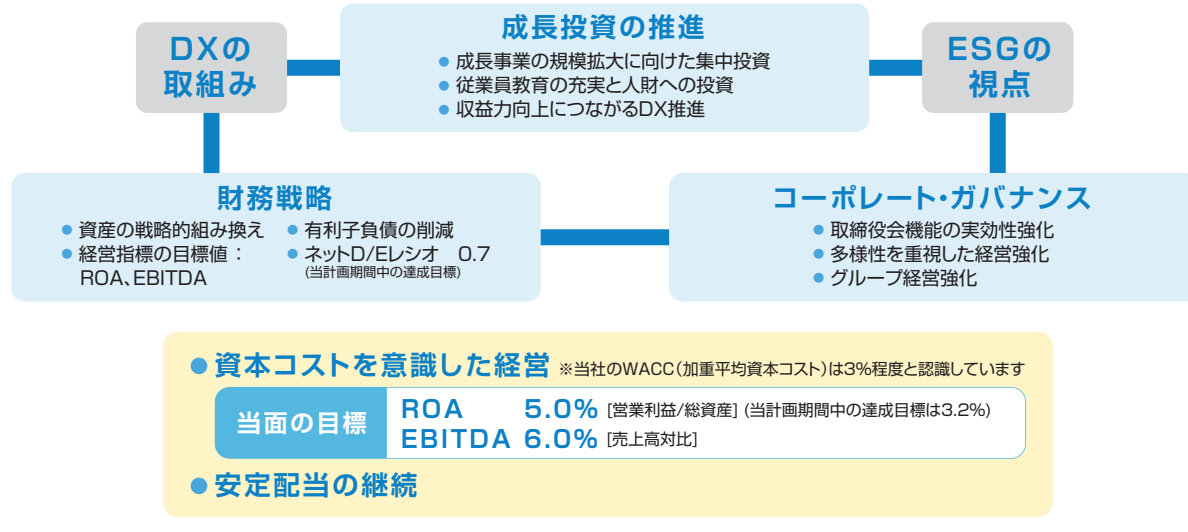
2024 2025 2026 2027 2028 2029 2030

これまでの中期経営計画
「選択と集中」・「構造改革」・「拡大」・「前進」・「強化」

成果

- 収益力の強化
- 財務体制の強化
- 自己資本比率の向上

経営戦略 Challenge2026



ハヤシカネ オンラインショップ リニューアルオープン

QRコードから
ご覧ください



「霧島黒豚」をはじめとした当社ギフト商品や、エラスチンなどの機能性サプリメントが購入できる公式オンラインショップをリニューアルしました。

自社グループ農場キリシマドリームファームで肥育された「霧島黒豚」。

この度オンラインショップをリニューアルすることで、ギフトシーズンだけでなく、年間を通じて手軽にご購入いただける体制を整えました。

また当社機能性素材を配合したサプリメントも発売することにより、おいさと健康の源となる商品のご提供を通じて人々の幸せをサポートします。



▲ 焼肉パーティセット



▲ PREMIERハム



▲ 厚切りロース米糀味噌漬



エラスチンサブリ
林兼独自の高純度カツオ由来「エラスチン」をふんだんに配合。誰にも負けないハリある毎日をサポート。



ヒシエキスサブリ
厳選素材の「トウモロコシ」の果皮より抽出したポリフェノール成分。毎日の若々しさにアプローチ。輝きある毎日をサポート。



アスコフィランサブリ
海藻から抽出した「アスコフィランHS」が毎日の元気にアプローチ。海藻パワーがメリハリある毎日をサポート。

平安海産あら粕吸着飼料プラント竣工

当社グループは、事業内で発生したブリの「あら残渣」を利用した「あら粕吸着飼料」の製造を開始しました。従来利用されていなかったブリのあら残渣を、穀物粕に吸着させて混合・乾燥処理することにより、魚粉・魚油の代替とする「原料リサイクル」の取り組みです。

当社グループの事業領域を活かし、SDGs(持続可能な開発目標)が謳う「水産資源保全」への取り組みに貢献してまいります。



▲ あら粕吸着飼料

財務諸表(要約)

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産	13,988	15,666
固定資産	12,767	13,377
有形固定資産	8,333	8,217
無形固定資産	77	102
投資その他の資産	4,356	5,058
資産合計	26,755	29,043
負債の部		
流動負債	11,437	12,878
固定負債	5,386	5,072
負債合計	16,823	17,950
純資産の部		
株主資本	9,074	9,585
資本金	3,415	3,415
資本剰余金	2	2
利益剰余金	5,714	6,327
自己株式	△58	△159
その他の包括利益累計額	857	1,508
その他有価証券評価差額金	842	1,499
繰延ヘッジ損益	△0	△0
退職給付に係る調整累計額	16	9
純資産合計	9,932	11,093
負債純資産合計	26,755	29,043

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (自2022年4月1日 至2023年3月31日)	当連結会計年度 (自2023年4月1日 至2024年3月31日)
売上高	42,544	47,376
売上原価	37,801	42,176
売上総利益	4,742	5,199
販売費及び一般管理費	4,390	4,501
営業利益	351	698
営業外収益	269	346
営業外費用	147	131
経常利益	473	913
特別利益	75	252
特別損失	94	127
税金等調整前当期純利益	453	1,039
法人税、住民税及び事業税	119	327
法人税等調整額	1	△37
当期純利益	333	749
親会社株主に帰属する 当期純利益	333	749

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (自2022年4月1日 至2023年3月31日)	当連結会計年度 (自2023年4月1日 至2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△310	3,579
投資活動によるキャッシュ・フロー	△452	△399
財務活動によるキャッシュ・フロー	△615	△1,241
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,379	1,939
現金及び現金同等物の期首残高	1,942	562
現金及び現金同等物の期末残高	562	2,501

連結株主資本等変動計算書(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

(単位:百万円)

	株主資本				その他の包括利益累計額				純資産 合計	
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	退職給付に係る 調整累計額		その他の包括 利益累計額合計
当期首残高	3,415	2	5,714	△58	9,074	842	△0	16	857	9,932
当期変動額										
剰余金の配当			△132		△132					△132
親会社株主に帰属 する当期純利益			749		749					749
自己株式の取得				△117	△117					△117
自己株式の処分		△4		16	12					12
自己株式処分差損の振替		4	△4		-					-
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					-	657	△0	△6	650	650
当期変動額合計	-	-	612	△101	511	657	△0	△6	650	1,161
当期末残高	3,415	2	6,327	△159	9,585	1,499	△0	9	1,508	11,093

個別貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産	13,118	15,094
固定資産	11,136	11,517
有形固定資産	6,709	6,489
無形固定資産	73	95
投資その他の資産	4,353	4,932
資産合計	24,254	26,612
負債の部		
流動負債	11,458	13,095
固定負債	4,116	3,794
負債合計	15,575	16,890
純資産の部		
株主資本	7,869	8,268
資本金	3,415	3,415
利益剰余金	4,513	5,012
自己株式	△58	△159
評価・換算差額等	809	1,454
その他有価証券評価差額金	809	1,454
繰延ヘッジ損益	△0	△0
純資産合計	8,679	9,722
負債純資産合計	24,254	26,612

個別損益計算書

(単位:百万円)

科目	前事業年度 (自2022年4月1日 至2023年3月31日)	当事業年度 (自2023年4月1日 至2024年3月31日)
売上高	43,843	48,771
売上原価	39,851	44,123
売上総利益	3,992	4,647
販売費及び一般管理費	3,977	4,033
営業利益	15	614
営業外収益	250	300
営業外費用	164	145
経常利益	101	769
特別利益	28	246
特別損失	15	123
税引前当期純利益	115	892
法人税、住民税及び事業税	1	243
法人税等調整額	△9	13
当期純利益	123	636

会社概要

会社概要

設立年月日 1941年1月15日
 資本金 3,415,020,145円
 本店 山口県下関市大和町二丁目4番8号
 〒750-8608 TEL(083)266-0210

沿革

1941年1月 山口県合同缶詰(株)を設立
 1947年6月 山口県缶詰(株)に社名を変更
 1950年10月 日新缶詰(株)に社名を変更
 1952年4月 下関飼料工場を建設
 1955年1月 林兼産業(株)を合併し新社名を林兼産業(株)に変更
 1959年8月 下関工場を建設
 1962年5月 下関飼料工場を増設
 1962年5月 株式を東京証券取引所に上場
 1964年12月 本社社屋および研究棟を建設
 1968年5月 下関第二工場を建設
 1969年4月 林兼畜産(株)を設立、養鶏・養豚事業を同社へ移管
 1970年6月 都城工場を増設
 1976年2月 林兼冷蔵(株)を設立
 1986年11月 林兼ポトリー(株)(現 キリシマドリームファーム(株))を設立し、林兼畜産(株)の事業を同社へ移管
 1988年9月 林兼冷蔵(株)第二冷凍工場を建設
 1991年7月 (有)平安海産を設立
 1993年3月 長府工場を建設
 1996年12月 林兼フーズ(株)を設立
 2006年10月 都城ウエルネスミート(株)を設立
 2009年3月 (有)桜林養鰻を子会社化
 2020年11月 コーポレートロゴを変更
 2021年12月 太幸物産(株)を子会社化
 2022年4月 東京証券取引所スタンダード市場へ移行

本社・事業所等

本社 〒750-8608 山口県下関市大和町二丁目4番8号
 TEL(083)266-0210
 経営管理本部 〒750-8608 山口県下関市大和町二丁目4番8号
 総務部 TEL(083)266-0210
 総合企画室 TEL(083)266-0212
 経理部 TEL(083)266-0214
 品質保証部 TEL(083)266-0215
 内部統制室 〒750-8608 山口県下関市大和町二丁目4番8号
 TEL(083)267-0347
 事業統括本部 〒750-8608 山口県下関市大和町二丁目4番8号
 TEL(083)266-0221
 食品事業部 〒750-8608 山口県下関市大和町二丁目4番8号
 TEL(083)266-0221
 下関工場 〒750-8608 山口県下関市大和町二丁目4番8号
 TEL(083)266-0221
 都城工場 〒885-0021 宮崎県都城市平江町40号1番
 TEL(0986)23-1450
 東京支社 〒103-0004 東京都中央区東日本橋三丁目10番
 14号 サンライズ橘2F
 TEL(03)5640-1651
 大阪支社 〒541-0054 大阪府大阪市中央区南本町三丁目
 4番7号
 第一住建御堂筋本町ビル7F
 TEL(06)7660-2164
 飼料事業部 〒750-8517 山口県下関市東大和町二丁目10番3号
 TEL(083)267-9125
 下関飼料工場 〒750-8517 山口県下関市東大和町二丁目10番3号
 TEL(083)267-9125
 長府工場 〒752-0927 山口県下関市長府扇町13番33号
 TEL(083)248-5423
 アクアメディカルラボ 〒759-6316 山口県下関市豊浦町室津下字東
 768番地-1号
 TEL(083)774-4061

役員一覧

2024年6月25日現在

取締役社長 (代表取締役) 中部 哲二
 専務取締役 事業統括本部長 兼飼料事業部長 三代 健造
 取締役 事業統括本部長 兼食品事業部長 兼機能食品部長 平野 斉
 取締役 経営管理本部長 兼経理部長 戸倉 信一
 取締役 事業統括本部長 兼食品事業部副事業部長 安部 克彦
 取締役 経営管理本部副本部長 鈴田 修士
 取締役 (社外・独立) 田中 姿子
 取締役 監査等委員 (社外・独立) 岩村 修二
 取締役 監査等委員 (社外・独立) 山尾 哲之
 取締役 監査等委員 (社外) 三田村 知尋
 取締役 監査等委員 (社外・常勤) 中嶋 一貴

株式の状況

2024年3月31日現在

発行可能株式総数 20,000,000株
 発行済株式の総数 8,910,000株
 単元株式数 100株
 株主数 5,686名
 (前期末比224名減)

大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
公益財団法人中部財団	770	8.93
マルハニチロ株式会社	565	6.55
株式会社恵比須商会	426	4.93
株式会社松岡	360	4.17
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	295	3.42
日本生命保険相互会社	255	2.95
株式会社十八親和銀行	253	2.93
損害保険ジャパン株式会社	198	2.30
中部哲二	174	2.02
株式会社山口銀行	157	1.82

(注) 持株比率は自己株式(278,585株)を控除して計算しております。

所有者別分布状況

